

UNZEN CITY COMPREHENSIVE PLAN

雲仙市総合計画

後期基本計画 数値目標達成状況

○将来像 豊かな大地・輝く海と
ふれあう人々で築く たくましい郷土

○将来像の実現テーマ
雲仙・山麓「食」・「遊」・「快」のくにづくり

○計画期間

基本構想	平成19年度～平成28年度
前期基本計画	平成19年度～平成23年度
後期基本計画	平成24年度～平成28年度



平成29年11月

- 基本方針① みんなでつくるまちづくり
- 基本方針② 快適で住みよい暮らしづくり
- 基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり
- 基本方針④ 力強い産業と仕事づくり
- 基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり
- 基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

雲仙市総合計画後期基本計画(平成24年度から28年度) 数 値 目 標 達 成 状 況

はじめに

雲仙市は、平成24年3月に「雲仙市総合計画 後期基本計画 2012→2016」を策定しました。この計画は、前期基本計画(23年度まで)の終了に伴い、経済情勢や社会状況など本市を取り巻く環境の変化を考慮するとともに、新たな課題について見直しを行い策定しております。雲仙市の将来の発展に向け、市民と行政が一体となって、活力と魅力あるまちづくりに取り組むための指針であり、市政の総合的な経営指針となっております。

雲仙市の将来像としては、「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」を掲げ、その実現のための6つの基本方針を設定しています。

このたび、この6つの基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「**平成28年度数値目標**」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。

これは、平成28年度目標値(後期基本計画終了年)と平成28年度実績値を比較し、計画に対する取り組み状況を明らかにしたもので、目標達成に向けての進捗状況を示しています。

達成状況

基本方針	達成数	目標数
みんなでつくるまちづくり	8	16
快適で住みよい暮らしづくり	4	17
笑顔いっぱいの健康と福祉づくり	5	19
力強い産業と仕事づくり	8	25
新しい観光・交流による活力づくり	1	8
明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり	10	24
計	36	109

基本方針① みんなでつくるまちづくり

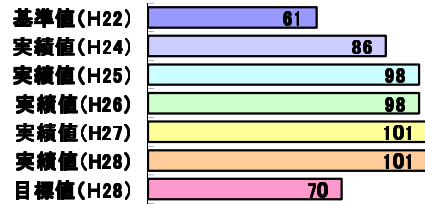
政策1 参加と協働のまちづくり

地域コミュニティを守り育てる取り組みの推進と、NPOなどのまちづくり団体の育成や活動支援、イベント開催などを行います。また、市民の意見を市政に反映させる広聴活動を充実させます。

【001】地域づくり活動団体数

総合窓口課

単位: 団体



◎説明

※目標達成!

H18年度～H28年度地域づくり補助金活用団体数 92団体
地域づくりネットワーク登録団体数 9団体

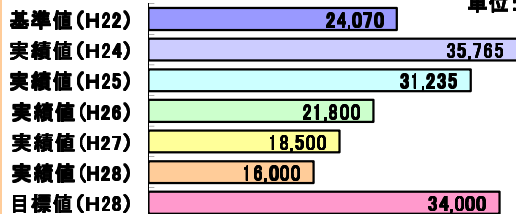
(解説)

地域づくり補助金制度により、各種事業を実施した団体の累計及び地域づくりネットワーク協議会に登録している団体数。

【003】ふるさと産業まつり等への参加者数

観光物産課・総合窓口課

単位: 人/年



◎説明

イベントについては、天候に左右される。28年度は産業まつりが雨天であったため、昨年度に比べて参加者が減少した。

雲仙市産業まつり 7,000人

雲仙市瑞穂特産品まつり 2,000人

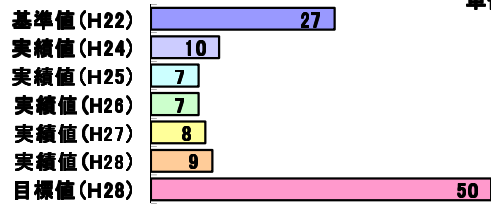
雲仙モーモーフェスティバル 7,000人

雲仙みずほカキ焼きまつり 中止

【002】NPO数およびボランティア活動センター登録団体数

総合窓口課

単位: 団体



◎説明

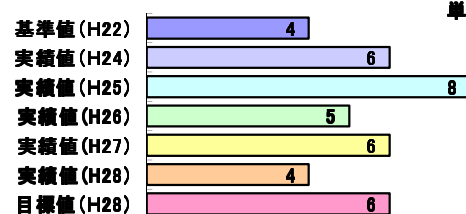
NPO法人9団体

実績値については、指標対象であるボランティア活動センター登録制度の廃止により、活動指標はNPO団体数のみとなっている。

【004】市長による広聴活動数(H25年度～)

政策企画課

単位: 回/年



◎説明

(H28実績)

・市内各地の敬老会での意見交換会

・市内各自治会長会議での意見交換会

・商工会と行政との懇談会

・雲仙市担い手協・農業研修会での意見交換会

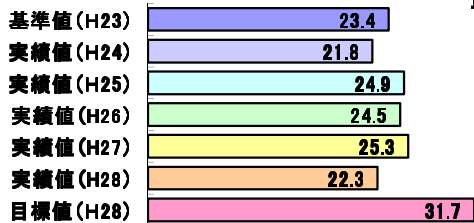
政策2 人権尊重・男女共同参画社会づくり

人権が尊重された社会を目指すため、研修会や情報発信などの普及啓発活動を推進し、偏見による被害・いじめ・DV等の未然防止と早期発見のための環境を整備します。また、男女とも主体的に参画できる社会づくりを目指し、政策方針決定過程への女性の参画の拡大など、男女共同参画を推進します。

【005】市審議会等における女性委員登用率

政策企画課

単位: %



◎説明

地方自治法第202条の3に該当する審議会等委員の総数 400人 うち女性委員数 89人 (22.3%)

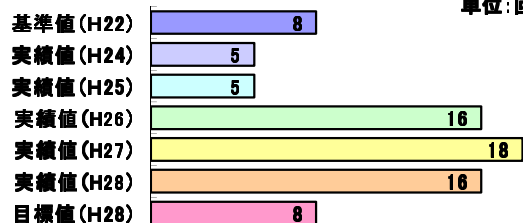
(参考)

審議会等数 28団体 うち女性委員のいる審議会等数 25団体

【006】人権啓発の普及活動実施数

総合窓口課・生涯学習課

単位: 回/年



◎説明

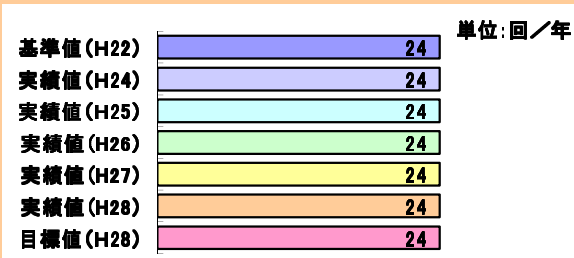
※目標達成!

・人権の花運動 市内の小学校7校

・人権紙ふうせん打ち上げ事業 市内の小学校3校

・人権講演会「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」 6回

【007】人権相談所(よろず相談所・特設人権相談所)開設数



※目標達成!

総合窓口課

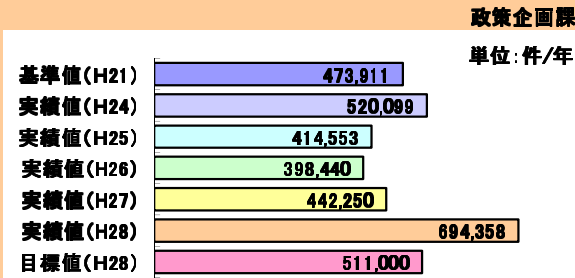
◎説明

- ・よろず相談所10回
- ・特設人権相談所7会場×2回開催＝14回

政策3 効果的で開かれた行政運営

職員の能力向上や行政運営基盤の強化を行い、市民の行政ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供します。また、多様な媒体を活用した情報の発信と公開を行うとともに、個人情報の適切な管理を行います。

【008】市ホームページアクセス件数

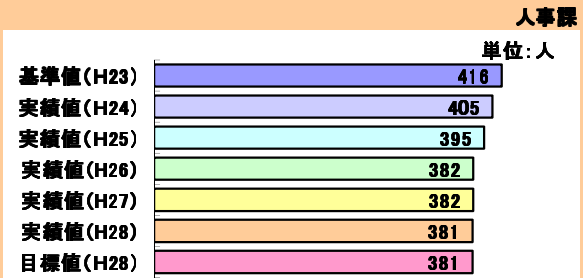


◎説明

- ・広報紙やパンフレット等へQRコード掲載を推進し、ホームページの利用促進を図った。
- ・広報委員会において、更新作業の重要性の周知とスマートフォンからの利用促進を図った。
- ・情報更新件数 1,389件

※目標達成!

【009】市職員数(一般職)



◎説明

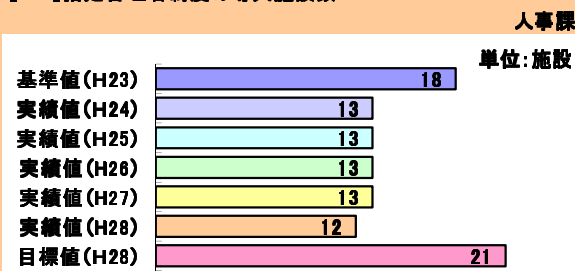
定員適正化計画に基づく職員配置を図った。

- (増加) 新規採用 22名
- ・雲仙市新規採用 12名
 - ・ " 再任用 5名
 - ・教員割愛(県) 2名
 - ・国交省割愛 1名
 - ・県職員人事交流 2名

- (減少) 退職等 23名
- ・雲仙市職員 15名
 - ・ " 再任用 3名
 - ・教員割愛(県) 2名
 - ・国交省割愛 1名
 - ・県職員人事交流 2名

※目標達成!

【010】指定管理者制度の導入施設数



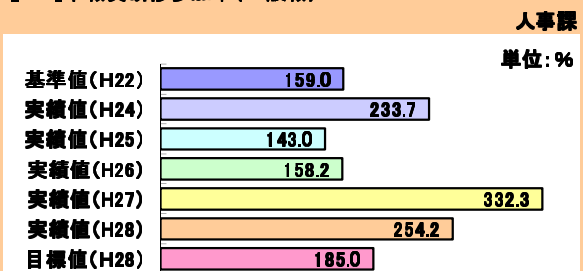
◎説明

平成28年度の指定管理者施設は、雲仙市小浜歴史資料館について指定管理者候補者が選定されなかったことに伴い、「1件減」の結果となった。

H28減少施設 雲仙市小浜歴史資料館

平成24年度から直営となっている「雲仙市瑞穂すこやかランド関係施設(5施設)」は、「千年の湯の施設修繕や源泉の安定供給の不安」などの問題を抱えたままの状況に変化がなく、平成28年度も指定管理者の公募を行うまでに至らなかった。

【011】市職員研修参加率(一般職)



◎説明

H28年度: $943人/371人 \times 100 = 254.2\%$

階層別: 28人 専門: 76人 自主研修: 4人 J I A M: 12人 アカデミー: 8人 職場研修: 815人

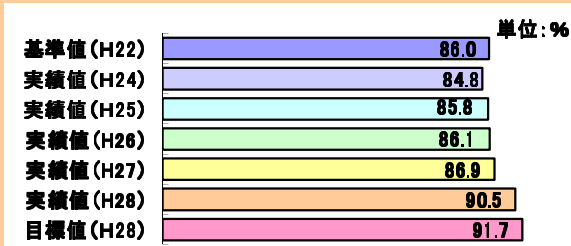
※目標達成!

政策4 健全で計画性のある財政運営

健全で計画的な財政運営を行うとともに、自主財源の確保や、市有財産の有効活用を行います。

【012】市税の収納率

収納推進課



◎説明

平成28年6月より徴収嘱託員による臨戸徴収を廃止し、預貯金や給与などの債権差押や捜索による動産差押など、滞納処分を中心とした滞納整理に努めている。

差押さえた動産については、市町村合同公売会やインターネット公売による換価を行い、滞納税への充当を図っている。

滞納処分を中心とした滞納整理を進めた結果、目標値を下回ったものの、前年より3.63ポイントの収納率増につながっている。

また、収納額も前年度を約1億6千8百万円上回った。

全体

調定額 4,478,282千円・・・A
 収納額 3,929,851千円・・・B
 不納欠損額 137,382千円・・・C
 $B / (A - C) = 90.53\%$

現年度

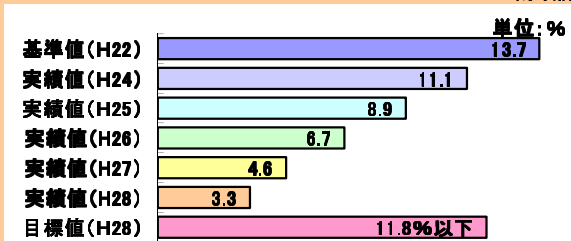
調定額 3,911,234千円・・・A
 収納額 3,845,299千円・・・B
 不納欠損額 3,804千円・・・C
 $B / (A - C) = 98.41\%$

過年度

調定額 567,048千円・・・A
 収納額 84,551千円・・・B
 不納欠損額 133,577千円・・・C
 $B / (A - C) = 19.51\%$

【014】実質公債費比率

財政課



◎説明

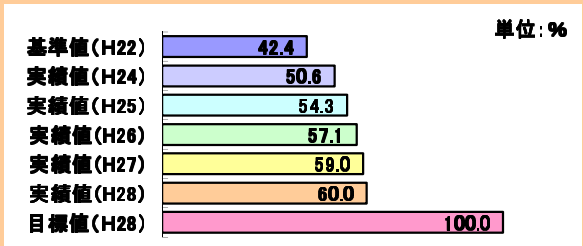
※目標達成！

公債費等の標準財政規模に対する比率。

繰上償還などにより地方債現在高が対前年度比で約10億5,253万円減ったこと、また、地方税の増などにより標準税収収入額等が1億3,804万円増えたことなどにより、単年度比率で0.3ポイント、3ヶ年平均で1.3ポイントの減少となった。

【013】公共用地のうち登記可能な未登記物件の登記率

用地課



◎説明

登記事務嘱託職員3名を配置し分筆登記、所有権移転登記を実施した。

相続人全員の承諾が得られず、登記が思うように進んでない状況である。

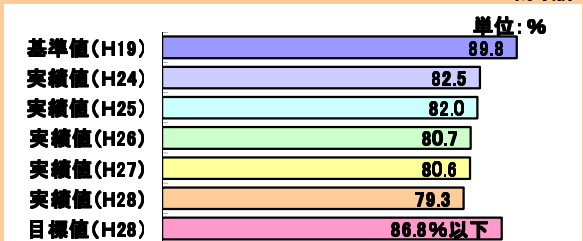
登記可能な未登記合計 10,500筆

登記完了数 6,308筆 (H28年度 116筆)

$6,308 / 10,500 \times 100 = 60.0\%$

【015】経常収支比率

財政課



◎説明

※目標達成

経常的に支出する経費に、地方交付税など経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率。

歳出において、対前年度比で、扶助費に充当した経常的一般財源で約1,647万円の増、繰出金に充当した経常的一般財源で約1億3,525万円の増があるものの、公債費（定時償還元金・利子）の約1億4,458万円減などにより、経常経費充当の一般財源全体で約3億2,323万円の減となっている。

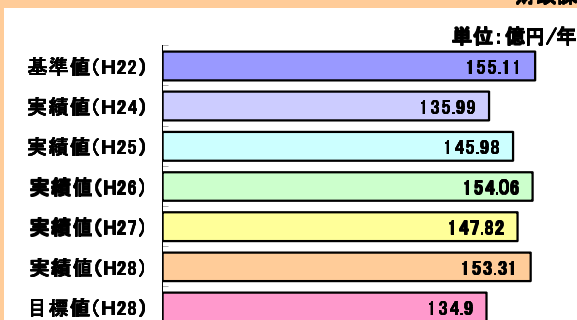
また、歳入の経常一般財源全体で約1億1,228万円の減となっており、この結果、H28年度の経常収支比率は、H27年度と比較して1.3ポイントの減少となった。

【経常収支比率の計算式】

経常経費に充当した経常一般財源（13,964,511千円）／経常一般財源総額（17,618,988千円）×100=79.3%

【016】義務的経費を除く歳出額

財政課



◎説明

積立金において、中期財政計画に基づく減債基金積立金の減やふるさと応援寄附金の減少によるふるさと応援基金積立金の減などにより、約8億6,851万円の減があったものの、投資及び出資金・貸付金において、地域総合整備資金貸付（ふるさと融資）の増などにより、約6億5,892万円の増となったほか、投資的経費において、農業関係の新規補助事業の増などによる普通建設補助事業費の増や災害復旧費の増などにより、約3億9,870万円の増となった。

また、繰出金において、国民健康保険特別会計への財源調整のための繰出金が発生したことによる増などにより、約4億6,815万円の増となった。

これらにより義務的経費を除く歳出額は、H27年度と比較し約5億4,852万円の増となった。

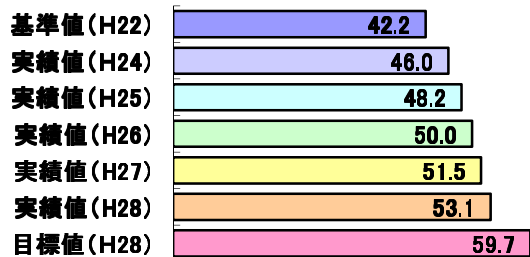
政策1 快適で潤いのある生活空間づくり

上下水道や市営住宅、公園・緑地、海岸・河川・港湾、火葬場などの各種施設等の計画的な整備や維持管理を行います。

【017】水洗化率

下水道課

単位：％



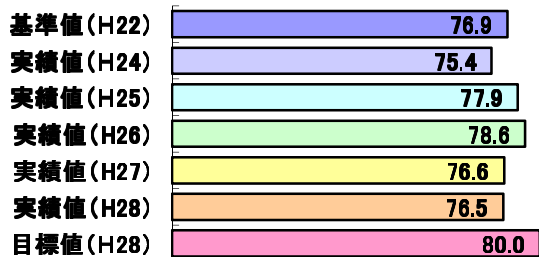
◎説明

H28年度 合併浄化槽人口（市型・個人型）10,653人
 H28年度 小規模集合排水処理（愛野東地区）75人
 H28年度 下水道事業 8,942人
 H28年度 農業集落排水事業 4,117人
 合 計
 $23,787人 / 44,837人 \times 100 = 53.1\%$
 （H25年度より外国人登録含む）

【018】水道有収率

水道課

単位：％



◎説明

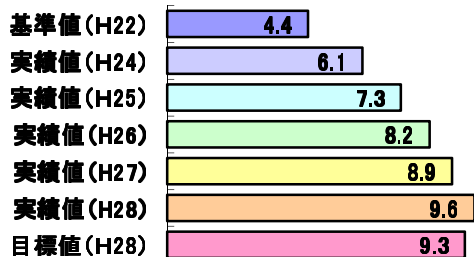
H28 $4,503,878\text{m}^3$ （総有収量） $\div 5,885,217\text{m}^3$ （総配水量） $\times 100 = 76.5\%$

※有収率が落ちた理由は、大規模漏水事故が多発したことにより、前年度より有収率が低下したと考えられる。

【019】水道管耐震化率

水道課

単位：％



◎説明

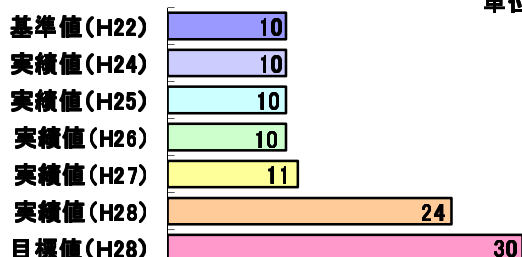
※目標達成！

（H28耐震化布設延長+H27までの耐震化布設延長） $\div$ 総延長＝耐震化率
 $(4.6\text{km}+46.7\text{km}) \div 532.8\text{km} = 9.6\%$

【020】定住相談窓口への相談者のうち市内への定住者数
（合併からの累計者数）

政策企画課

単位：人（延べ）



◎説明

（H19～移住者実績）
 H19年度3人+H20年度6人+H21年度1人+H22年度0人+H23年度0人+H24年度0人+H25年度0人+H26年度0人+H27年度1人+H28年度13人＝24人

平成28年度移住者実績 8組13名

●県外からの移住者（6組9名）

うち雲仙市役所を介した移住者（3組5名）

→地域おこし協力隊のアテンドや空き家バンク

うちながさき移住サポートセンターを介した移住者（3組4名）

→職業相談

●市外からの移住者（2組4名）

→空き家バンク、NPO団体によるサポート

政策2 災害に強い安心・安全なまちづくり

住民の防災意識の啓発の推進と、迅速で的確な防災情報の発信を行います。また、自主防災組織の育成・強化を図り、地域での防災訓練の取り組みなど自主防災体制のより一層の強化を図り、災害危険箇所の整備や消防防災体制の充実・強化など防災基盤の整備を推進します。

【021】急傾斜地崩壊対策事業整備率

道路河川課



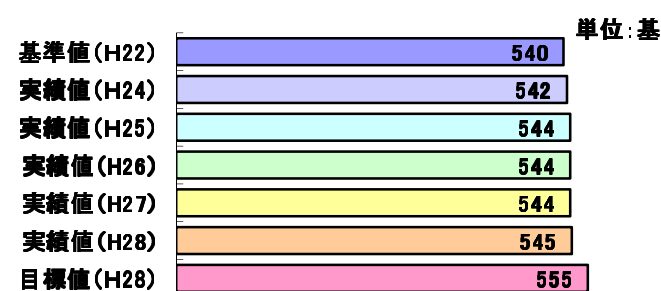
◎説明

(根拠) ※1 ※2
H28年度 32箇所/137箇所 × 100 = 23.3%

※1 崩壊対策施設整備済地区数
※2 崩壊危険箇所数

【022】防火水槽の設置数(20t以上)

市民安全課



◎説明

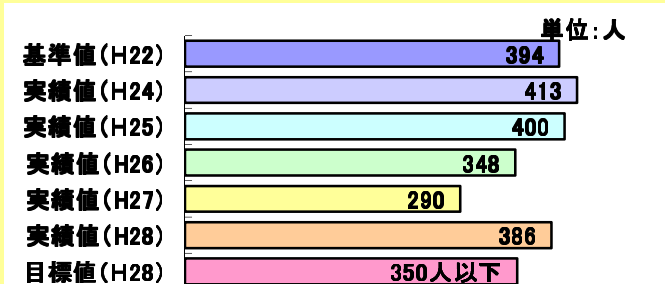
・吾妻支団守山馬場 地下式1基新設
・吾妻支団河内 地下式1基新設
・吾妻支団守山馬場 防火水槽(池) 1箇所撤去
累計545基

政策3 安心・安全な暮らしの実現

地域ぐるみの防犯活動や交通安全活動を推進するとともに、防犯施設や交通安全施設の整備・充実を図ります。また、安心・安全な消費生活を確保するため、消費生活センターを中心とした相談体制の充実に取り組むほか、市民意識の啓発を行います。

【023】交通事故による死傷者数(市民安全課)

市民安全課

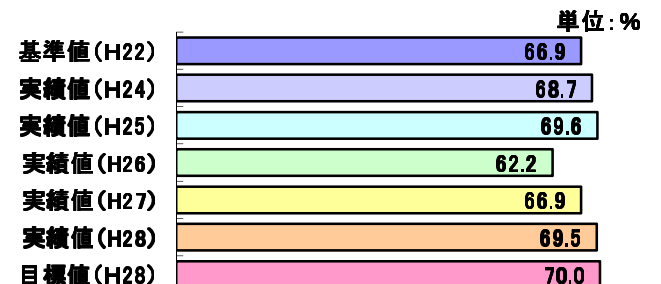


◎説明

H28は死者数3名で前年より1名減少。
負傷者数が383名であり、前年より大幅に上昇。
引き続き交通安全協会などの各種関係団体との連携を深め、交通安全教育や、啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努める。

【024】狂犬病予防注射接種率(登録犬への注射実施件数)

環境政策課



◎説明

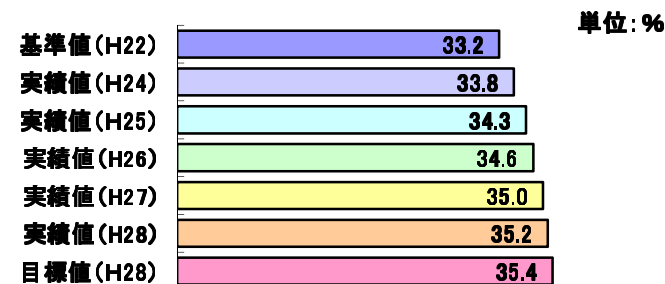
H28年度の犬の登録件数(2,226頭)の内、予防接種頭数1,547頭
(1,547[頭] ÷ 2,226[頭]) × 100 = 69.5%

政策4 道路網の整備

主要道路の早期完成と、愛野・小浜バイパス道路整備の実現を目指します。また、生活道路網について、拡幅や急カーブの是正などの整備と、長寿命化のための補修・改良、バイパス道路の整備などを計画的に推進します。

【025】市道改良率

監理課・道路河川課



◎説明

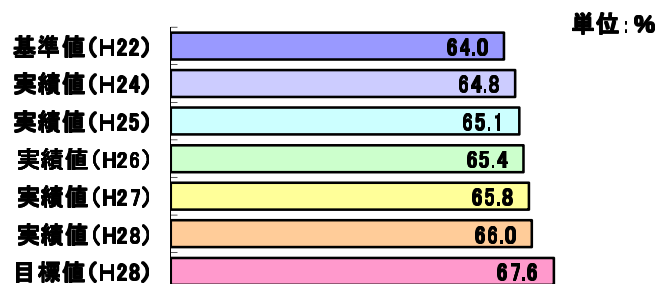
改良率＝改良済延長/実延長

$378.463 \text{ km} / 1,079.412 \text{ km} \times 100 = 35.2\%$

※市道において、計画的に改良・舗装事業を実施した。

【026】幹線道路網整備延長割合(1,2級市道改良済み延長割合)

監理課



◎説明

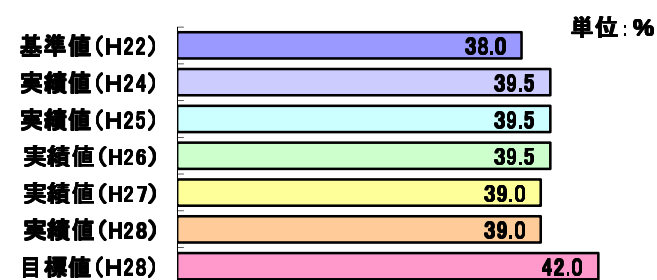
雲仙市内の幹線道路である1・2級市道として認定している路線は、191路線249,507mで、その内改良済みである路線は、164,702mで、改良率は66.0%となっている。

政策5 公共交通体系の充実

既存路線バスの維持・活性化の支援と、新交通システムの導入検討など、公共交通空白地域・交通弱者対策を展開します。また、本市の地理的特性を考慮し、交通ターミナル機能等の整備に取り組みます。

【027】バス停上屋整備率

総合窓口課



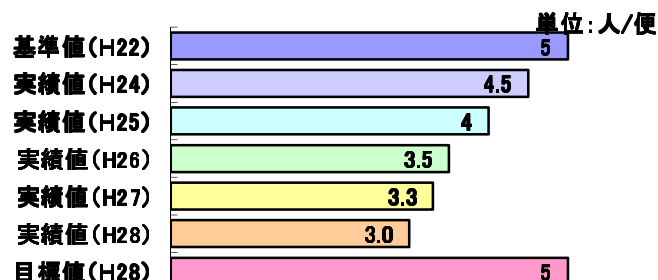
◎説明

【新規】0箇所

$80 \text{ 箇所} (\text{設置済 バス停}) \div 205 \text{ 箇所} (\text{バス停総数}) = 39.0\%$

【028】1便当たり利用者数(乗合タクシー運行路線利用者数)

総合窓口課



◎説明

年間利用者数: 21,161人

運行回数: 7,165回

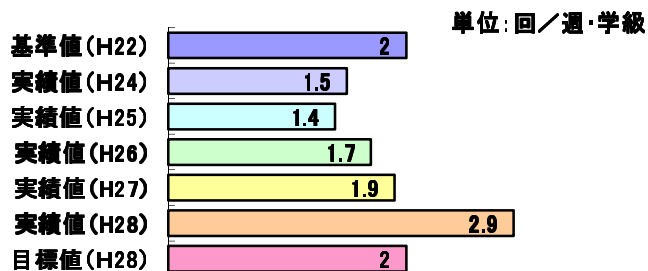
$21,161 \text{ 人} \div 7,165 \text{ 回} = 3.0 \text{ 人}$

政策6 高度情報化の推進

市民の立場に立った情報提供の充実を図るとともに、ICTを活用した市民サービスの提供について研究を進めます。

【029】学校教育支援システム(インターネット・TV会議)利用授業回数

学校教育課



※目標達成!

◎説明

2.9回/週・学級 $\div$ 1.04+1.81

(内訳)

・電子黒板でのインターネット活用

1.04回/週・学級

・パソコン室でのインターネット活用

1.81回/週・学級

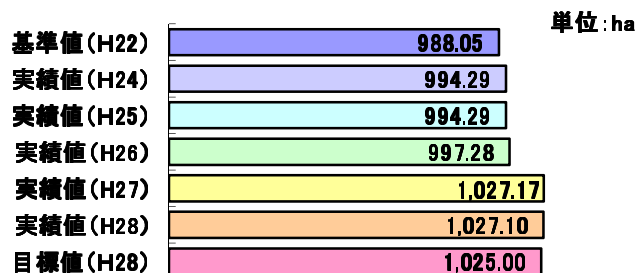
※いずれも各教科・領域・総合的な学習等での利用場面が教育課程に計画されている小学3年～中学3年のうち中学3年を除く学級数を基準に算出。(2月調査のため)

政策7 自然と共存する地域づくり

環境保全に関する意識啓発や活動に対する支援、森林の環境整備などを行います。また、循環型社会へ対応するため、ごみの減量化に努め、効率的なごみ・し尿収集・処理体制の構築や不法投棄対策の強化などを行います。

【030】保安林面積

農林水産課



◎説明

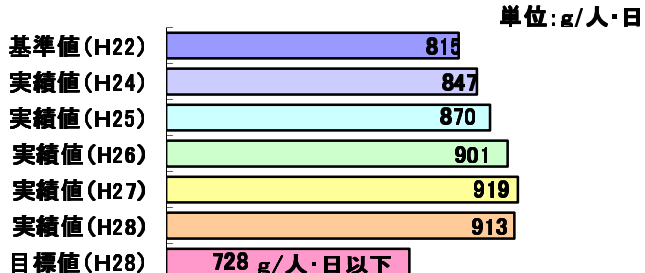
※目標達成!

H28年度において、道路への地目変更により保安林面積が0.07ha減少した。

減少地区: 小浜町山畑地区 (0.07ha)

【031】1人1日あたりのごみ排出量

環境政策課

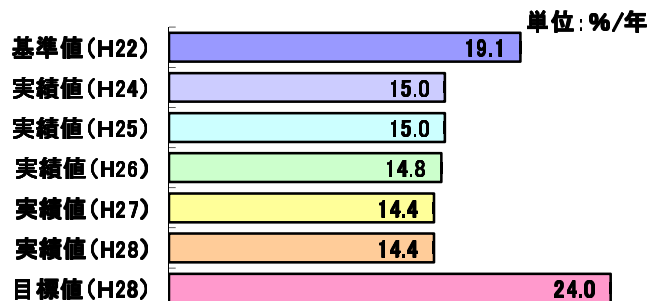


◎説明

H28年度ごみ排出量15,042tを総人口45,154人で除し、一日あたりに換算した一人一日あたりごみ排出量は913gとなる。近年増加の一途だった事業系ごみが減少。これは西部リレーセンターで実施するようになった展開検査で、区域外からのごみの持込が発見され、指導を行ったことが少なからず影響していると思われる。

【032】ごみの再資源化率

環境政策課

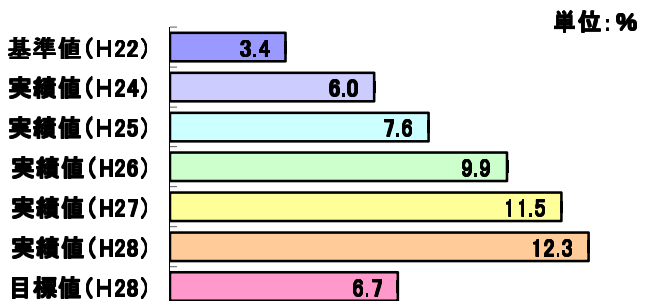


◎説明

H28年度ごみ処理量15,042tのうち、資源化量は2,165t(14.4%)である。

【033】太陽光発電の普及率

環境政策課



◎説明

※目標達成!

平成28年度実績

2,115(累計)/17,179世帯中の太陽光発電設置(太陽光発電受給契約書数)

2,115件 $\div$ 17,179世帯=12.3%

※太陽光設置数は事業用を含む

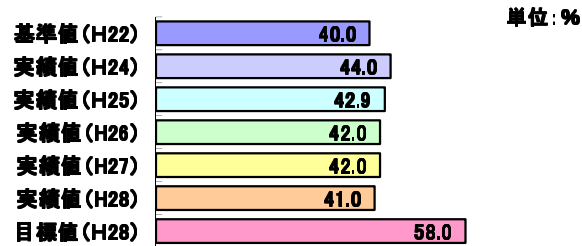
基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

政策1 健康な地域づくり

食育の推進や各種健康教室の開催等により、『自分の健康は自分で守る』という市民の健康意識の向上に努め、各種健康診査による病気の早期発見・早期治療の推進に取り組むとともに、生活習慣病等の予防に努めます。医療においては、かかりつけ医をもつことの推進と救急医療体制を整備し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

【034】特定健康診査受診率

総合窓口課・健康づくり課

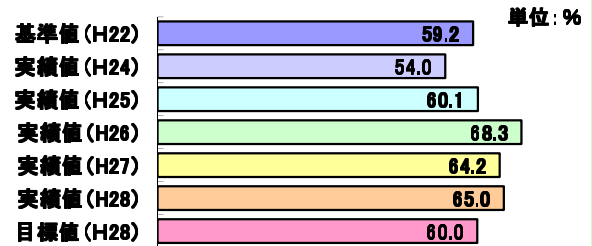


◎説明

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 平成28年5月10日～29年2月28日まで
- ・集団健診 44日（午前26日・午後18日）
- ・個別健診 45医療機関（雲仙市：22、南島原市23）
- ・人間ドック 10医療機関（雲仙市：5、南島原市5）
- ・対象者数 9,946人
- ・受診者数 4,081人
- ・受診率 41.0%
- ・特定健康診査（国保被保険者40～74歳）の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除き、職場健診者も反映される。

【035】特定保健指導実施率

総合窓口課・健康づくり課



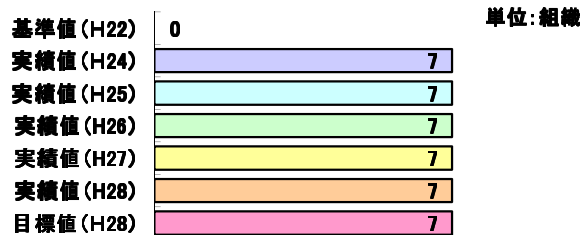
◎説明

※目標達成！

- ・市の直営で特定保健指導を実施。
- ・初回面接で、健診データと生活習慣の関連について説明を実施し、6ヵ月間の行動目標と支援計画を作成。その後、個別に継続支援を実施し、行動目標の評価を行う。
- ・特定健診受診者（4,081人）のうち、特定保健指導該当者 466人（11.4%）…①
- ・特定保健指導該当者①のうち、初回面接終了者 335人（71.8%）
- ・特定保健指導該当者①のうち、6ヵ月間の保健指導修了者 303人（65.0%）＝特定保健指導実施率

【036】地域福祉連合会設置数

福祉課



◎説明

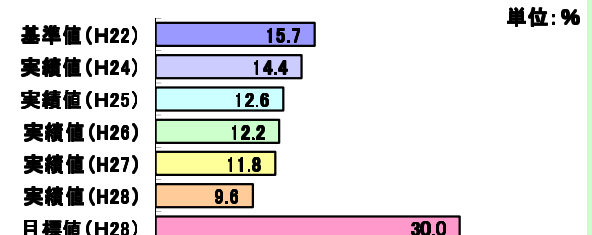
※目標達成！

地域福祉計画について市内全域で進めるため、各町を単位として設立。

※H24年度において達成

【037】胃がん検診受診率

健康づくり課

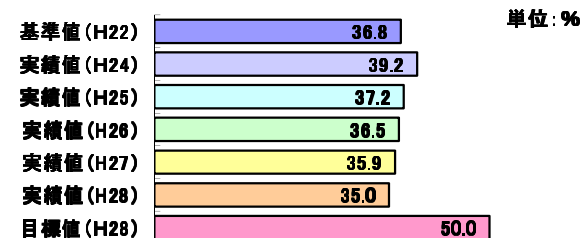


◎説明

胃がん検診の受診状況（H28年度）
 受診者数：1639人（集団：1016人 個別：623人）
 対象者数：17,108人
 受診率：9.6%
 H27年度の受診率を2.2%下回った。

【038】肺がん検診受診率

健康づくり課

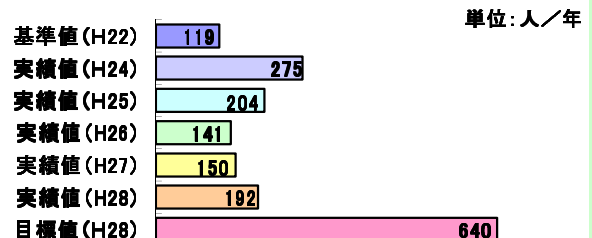


◎説明

肺がん検診の受診状況（H28年度）
 受診者数：5,996人（集団：2,551人 個別：3,445人）
 対象者数：17,108人
 受診率：35.0%
 H27年度の受診率を0.9%下回った。

【039】若年者健診受診者数

健康づくり課



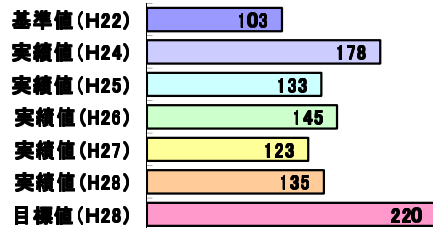
◎説明

若年者健診の受診状況（平成28年度）
 受診者数：192人（集団：74人 個別：118人）
 周知方法として、「健康診査のお知らせ」の世帯配布、20・25・30・35歳の節目対象者へ個別通知を実施。H26年度からは受診者数は増加している。

【040】歯周病予防健診受診者数

健康づくり課

単位:人/年



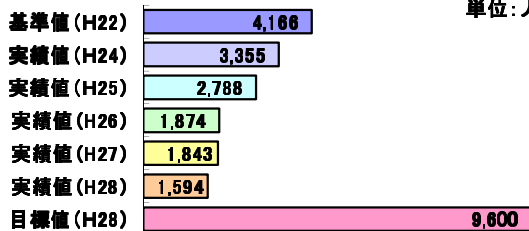
◎説明

対象者を平成23年～25年度は、40歳～70歳の5歳ごとの節目、平成26年～27年度は20歳～35歳の5歳ごとと40歳～70歳の10歳ごとの節目、平成28年度は20歳～70歳の5歳ごとの節目とし、対象者基準を変更した。H27年と比較すると受診者は増えたが受診率としては低下している。

【042】食生活改善推進事業の生活習慣病予防事業への参加者数

健康づくり課

単位:人/年



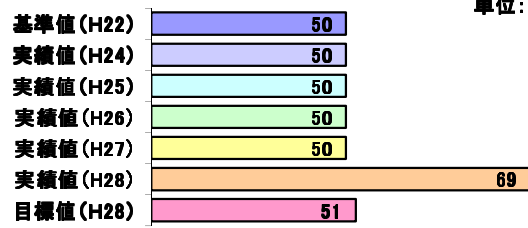
◎説明

雲仙市国民健康保険加入者40歳から74歳を対象にした特定健診の問診「朝食を抜くことが週3回以上ありますか」の設問で「はい」と答えた男性の割合

【041】公共施設へのAEDの設置数

健康づくり課

単位:箇所



◎説明

※目標達成!

雲仙市役所庁舎（本庁及び各総合支所）、小中学校、保健・福祉施設、公民館、社会体育施設等
市内69箇所に設置済

【平成28.6.2現在 県南保健所報告数値より抜粋】

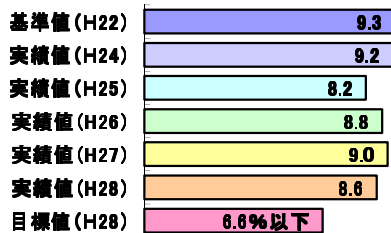
◎説明

食生活改善推進員による健診受診の勧奨や食生活改善に関する情報伝達等、生活習慣病予防の集会参加者数を計上。
H27年度の参加者数を下回った。
食生活改善推進員の対話訪問活動では受診勧奨・生活習慣病予防に関する情報伝達活動も実施している。
(H27年度 5,533人⇒H28年度 6,071人)

【043】朝食を食べない人の割合(男性)

健康づくり課

単位: %

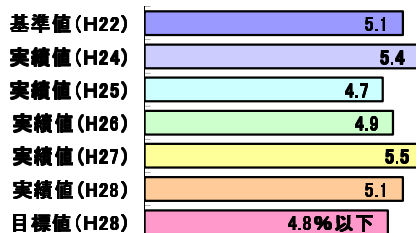


◎説明

【044】朝食を食べない人の割合(女性)

健康づくり課

単位: %



◎説明

雲仙市国民健康保険加入者40歳から74歳を対象にした特定健診の問診「朝食を抜くことが週3回以上ありますか」の設問で「はい」と答えた女性の割合

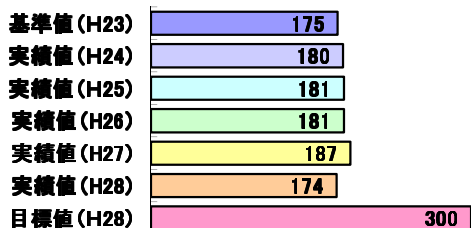
政策2 安心できる高齢社会の実現

介護予防教室等の充実により、介護状態への移行や重度化を防ぎ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者を見守り支えあう地域づくりを推進します。また、高齢者が進んで社会参加できる環境づくりに取り組みます。

【045】シルバー人材センターの登録会員数

福祉課

単位:人



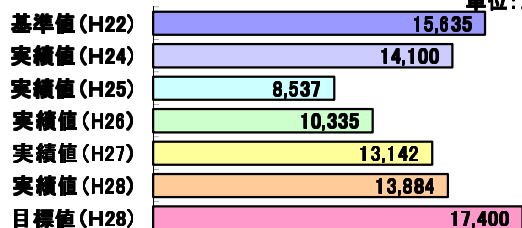
◎説明

登録会員は、毎年度更新になっており、H28年度の総加入登録会員は190人であったが、年度末までに16人の退会があり、174人となった。
会員加入説明会については、市民から要望があった時に、随時に外向くように柔軟に対応するよう変更し、年間18回行った。

【046】介護予防教室への参加者数

福祉課

単位:人/年

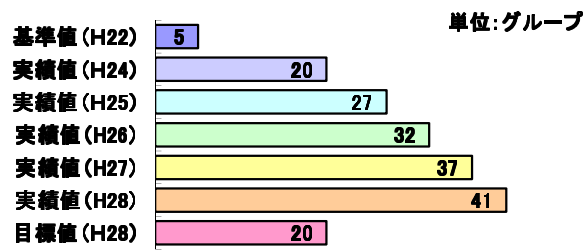


◎説明

平成28年度は介護予防教室「ころばんごとがんばらんば体操教室」を3カ所社協のミニデイサロンの移行させたため教室数は一時減少したが、新規に4カ所立上げをしたことで実質1カ所の増加となった。その影響もあり、参加者数の伸びは少なかったものの、742人増加した。
総合計画のH28年度の目標値には至らなかったが、参加者数は順調に伸びている。

【047】自主的な介護予防グループ数

福祉課



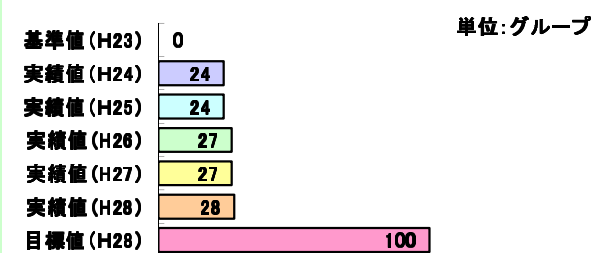
◎説明

※目標達成！

前年度に引き続き、未実施地区の自治会や老人クラブ等を対象として4つの教室を立ち上げ、自主的な教室にするための活動を支援した結果、自主的な介護予防グループ数を4ヵ所増やすことができた。

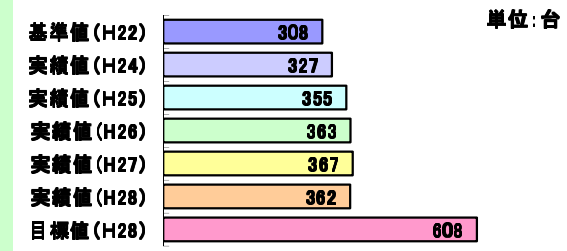
【049】高齢者の見守りネットワーク協力団体数

福祉課



【048】緊急通報システムを必要とするひとり暮らし世帯の利用台数

福祉課



◎説明

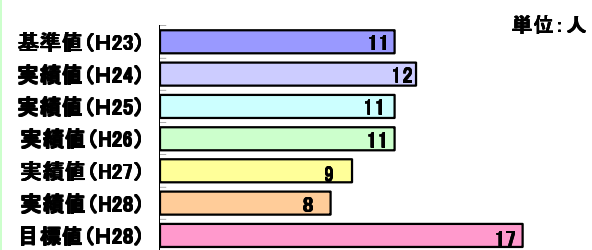
H27年度末の実利用台数367台、H28年度中の新規設置台数45台、撤去台数50台で実利用台数が5台減少した。

政策3 誰もが安心して暮らせる社会の実現

すべての市民が地域の中で安心して暮らせる社会を実現するため、相談体制を充実させ、医療、就労、施設整備などの幅広い分野において支援を行い、要援護者の自立と社会参加を促進します。

【050】手話奉仕員養成講座受講者数

福祉課

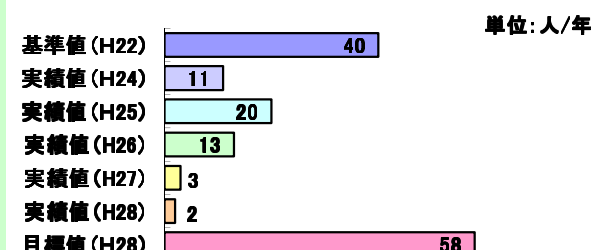


◎説明

入門過程受講者は募集を行った結果8名となり、2年前より2名減となった。

【051】障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

福祉課

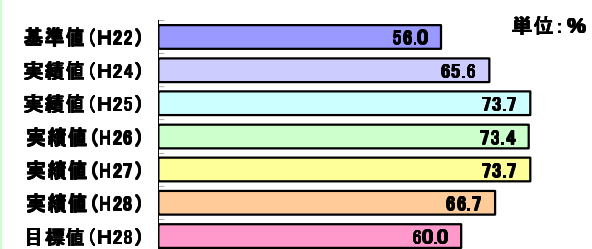


◎説明

知的障害者1名、精神障害者1名が障害者就業・生活支援センターの支援により就職した。

【052】稼働年齢層への就労支援による就労率

保護課



※目標達成！

◎説明

H28年度 14人（就労達成者数）÷21人（就労支援促進計画参加者数）

（解説）

生活保護費を受給している人で、働く意欲や能力がある人を対象として、求職就労支援促進計画事業に、登録を行ない、ハローワークの巡回相談などを通じて、求人情報の提供を行なった。

登録者21人の内、14人が就労した。

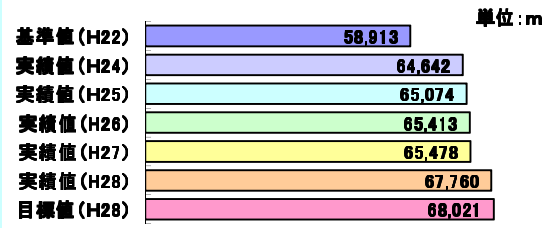
基本方針④ 力強い産業と仕事づくり

政策1 足腰の強い農林業の推進

農林業生産基盤整備の推進や、認定農業者・集落営農組織など担い手の育成に努め、農業生産の安定のためイノシシの防護策の設置促進や、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫対策を推進します。あわせて、農地や農村集落、森林の環境保全に努めます。

【053】農道整備延長(幅員が4m以上の農道)

農漁村整備課

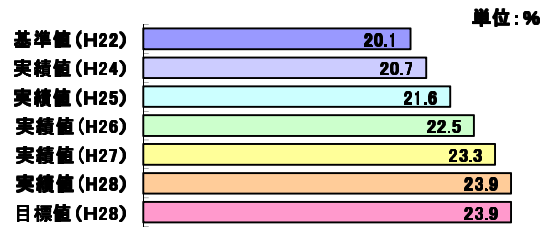


◎説明

田之平農道 L=460m
西光寺農道 L=444m
一本松農道 L=1,378m

【054】畑(区画)の整備率

農漁村整備課



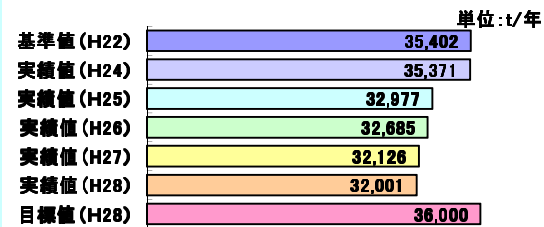
◎説明

※目標達成!

【県営農地整備事業】
・山田原第2地区整備面積: 14.90ha
・整備済面積: 638.37ha+16.90ha=653.27ha
・整備率: 653.27ha÷2734ha(畑総面積)×100=23.9%

【055】主要作物産出量(パレイショ)

農林水産課

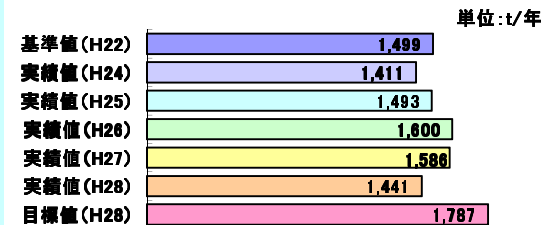


◎説明

『馬鈴薯生産流通事情調査』(H28春作及び秋作)等により生産量を調査し算出した。
軽量作物への転換が進むとともに、天候の影響により品質低下及び小玉出荷を招き、出荷量の減少となった。
春作の単価については、北海道の不作による高単価が期待されたが、平年並みの単価で推移した。

【057】特用林産物産出量

農林水産課

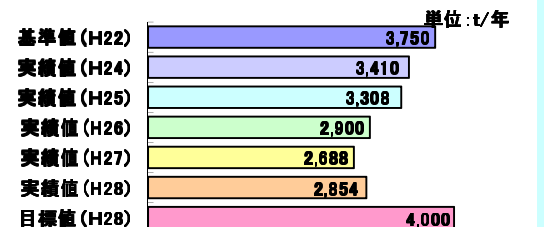


◎説明

市内にある3施設において、菌床栽培による生しいたけの生産を行っており、年間3%増の生産を目標とする。
※H28年度特用林産物生産統計調査実績より
吾妻しいたけ生産組合 658t
雲仙しいたけ生産組合 759t
長崎能力開発センター 24t
合 計 1,441t

【056】主要作物産出量(イチゴ)

農林水産課

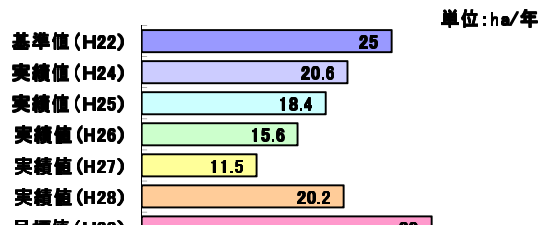


◎説明

全農ながさき販売実績等により算出した。平成28年度については、育苗期の炭そ病の発生が多く見られたが、年明けに好天に恵まれ、また、5月上旬には出荷量も増加したことから、全体的に出荷量は増加した。

【058】耕作放棄地の解消面積

農業委員会



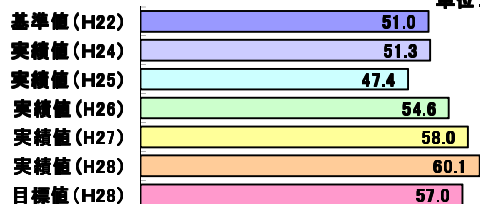
◎説明

市担当部局と連携して耕作放棄地解消を図った。
補助事業解消面積 5.7ha
自主解消等面積 14.5ha

【059】担い手等への農地集積率

農業委員会

単位：%/年



◎説明

※目標達成！

農地の有効利用を促進するため、認定農業者等担い手への農地集積を図るとともに、農地の借受者に対して一部補助を行った。また、平成26年度から始まった農地中間管理事業を引き続き推進した。

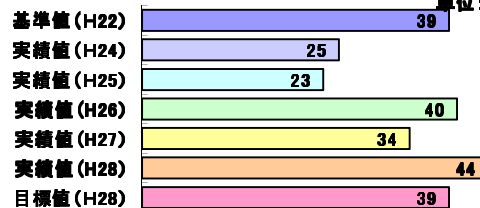
3,084ha（認定農業者等の経営面積）／5,130ha（農地面積）×100＝60.1%

※農地面積：H22～H26農林業センサス（4,806ha） H27～第62次長崎県農林水産統計年報（5,130ha）

【061】新規就農者数

農林水産課

単位：人/年



◎説明

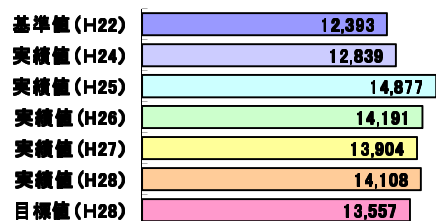
※目標達成！

平成28年度新規就農者実態調査によるもの。

【063】飼養頭数（肉牛）

農林水産課

単位：頭/年



◎説明

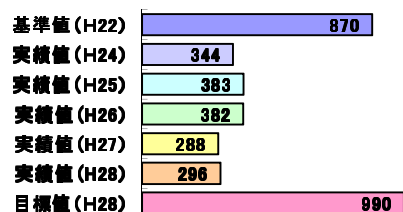
※目標達成！

飼養頭数については、各種補助事業を活用し規模拡大が図られた。

【065】エコファーマー認定者数

農林水産課

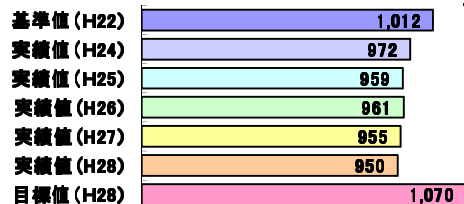
単位：人



【060】認定農業者数

農林水産課

単位：人



◎説明

再認定対象者の高齢な認定農家の中で、後継者が他産業に従事しており、辞退をした人が多かったため。

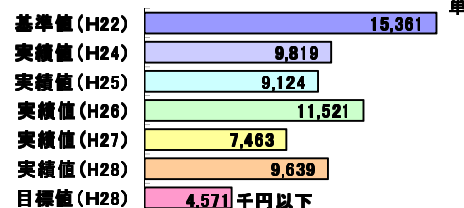
新規：19人

辞退者・認定切れ：26人

【062】有害鳥獣による被害額

農林水産課

単位：千円



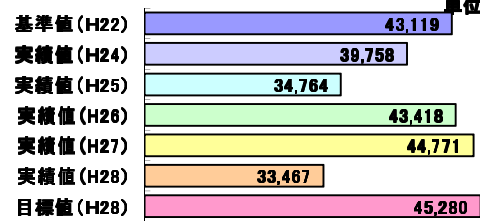
◎説明

平成28年度雲仙市有害鳥獣による農作物被害調査結果より（自治回覧による）

【064】飼養頭数（豚）

農林水産課

単位：頭/年



◎説明

28年度において、飼養頭数は減少した。29、30年度において、豚舎建設事業が計画されており、頭数の増加が見込まれている。

◎説明

環境保全型農業直接支払交付金等の補助事業要件となっているため新規申請が増加した。

新規：56人

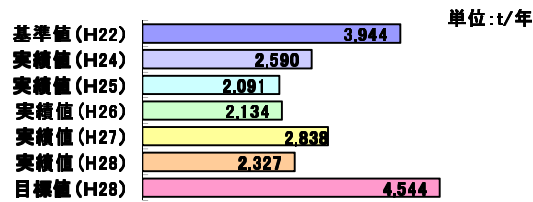
認定切れ：48人

政策2 豊かな水産業の振興

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。また、漁業担い手の確保のための取り組みを推進します。

【066】漁獲量

農林水産課

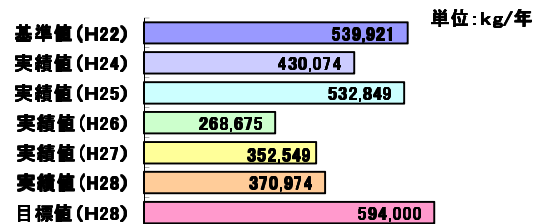


◎説明

有明海側では昨年同様環境変化（貧酸素・高水温等）により、魚類が低調、昨年好調のタコ漁も不漁であった。
橘湾側ではまき網によるカタクチイワシが一昨年並であった。
有明漁協多比良支所 1 t、国見漁協 18 t、瑞穂漁協 7 t、橘湾東部漁協 2,301 t 計 2,327 t

【068】養殖漁業による生産量（ノリを除く）

農林水産課

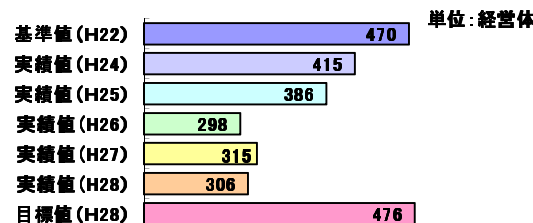


◎説明

瑞穂漁協のカキは、若干成育が悪く出荷量が伸び悩んだ。橘湾側ではトラフグの出荷量が増加
瑞穂漁協 74,050kg、橘湾東部漁協 296,964kg
計 370,974kg

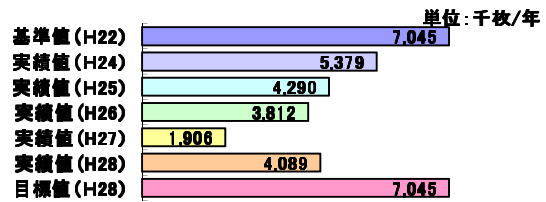
【070】漁業経営体数

農林水産課



【067】養殖漁業による生産量（ノリ）

農林水産課

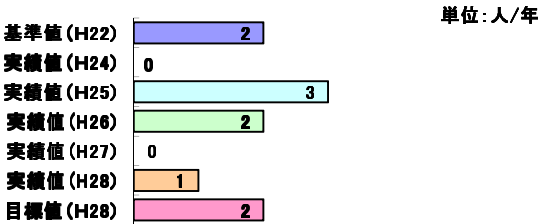


◎説明

昨年に続き育苗期の高温による影響を受け、質の良いものができず、全体の生産が少なかったが、昨年より回復した。
瑞穂地区847千枚、国見地区3,242千枚 計 4,089千枚

【069】漁業担い手確保推進事業による新規漁業就業者数

農林水産課



◎説明

漁業就業者確保育成対策事業を活用した新規漁業就業者数は1名であった。県外の就業者フェア等にも参加し勧誘を実施した。

◎説明

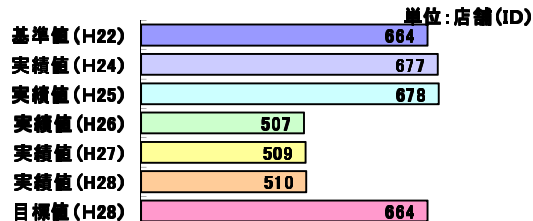
橘湾側は横ばい。有明海側で減少。 橘湾東部漁協 203、瑞穂漁協 47、国見漁協 39、有明漁協多比良分 17 計 306経営体

政策3 魅力ある商工業の振興

商店街が自発的に取り組む活性化に向けた活動支援や、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発等を推進します。また、金融支援策等により経営基盤の安定化を図ります。

【071】商工会ホームページで情報提供する商店等の数

商工労政課

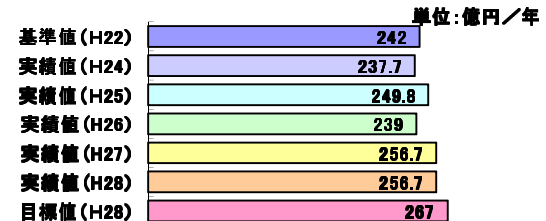


◎説明

雲仙市商工会が運営するホームページ「雲仙まるごとネット」に登録している商工会委員、団体等の数
(平成29年3月31日 商工会事務局調べ)

【072】市内製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

商工労政課



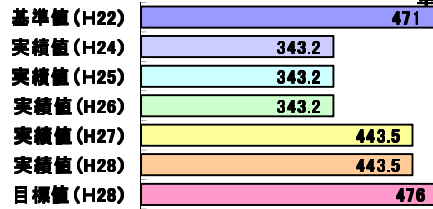
◎説明

H28経済センサス（平成28年7月1日）が実施されているが、統計数値が公表されていないことから、H26経済センサスの数値とする。

【073】市内年間商品販売額

商工労政課

単位：億円/年



◎説明

H28経済センサス(平成28年7月1日)が実施されているが、統計数値が公表されていないことから、H26経済センサスの数値とする。

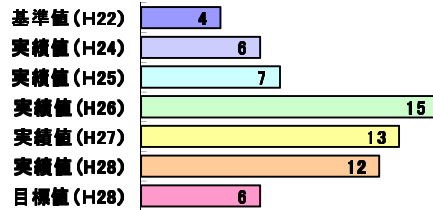
政策4 雲仙ブランドの確立

雲仙ブランドの確立と更なる浸透を図るため、安定した生産基盤の確立や、高付加価値型農業への取り組みを推進します。また、アンテナショップ等を活用し、大都市圏の消費者へのPRや販路拡大への取り組みを推進します。

【074】首都圏スーパー等での「雲仙市特産品販売コーナー」の設置店舗数

観光物産課

単位：店舗



◎説明

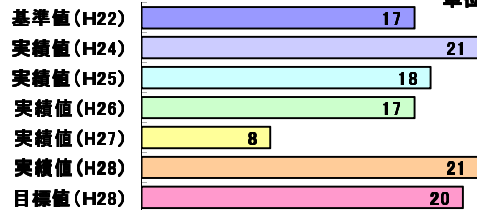
※目標達成！

夢彩都、旬八青果店(9店舗)、イオン筑紫野、イオン熊本

【075】市外での雲仙市物産フェアの開催数

観光物産課

単位：回/年



◎説明

※目標達成！

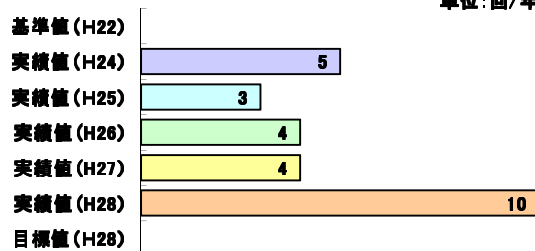
東京都庁(1回)、関東島原半島会(1回)、夢彩都(2回)、交流物産展in新橋(1回)、長崎熊本交流観光物産展(1回)、イオン九州島原半島恵のフェア(2回)、長崎県公民館大会物産展(1回)、旬八「雲仙市フェア」(1回)、雲仙市物産観光振興協会主催物産展(7回)、島原半島観光連盟主催物産展(3回)、商工会主催物産展(1回)

【076】アンテナショップ「キトラス」における商談回数

【参考】雲仙市商談会実績数

観光物産課

単位：回/年



◎説明

キトラスは平成27年1月開店。雲仙市主催、県主催に参加したもの等。

ホテル京セラ商談(1回)
京北スーパーとの商談会(1回)
雲仙市よかもん三昧商談会(1回)
第2回島原半島農林水産物等販売対策研究会(1回)
銀座クルーズ長崎フェア商談(1回)
クイーンズ伊勢丹長崎フェア商談(1回)
長崎佐世保雲仙第7回こだわり食材商談会(1回)
ウェスティン都ホテル京都長崎フェア商談(1回)
長崎・食の商談会(1回)
イオン九州長崎フェア合同商談会(1回)

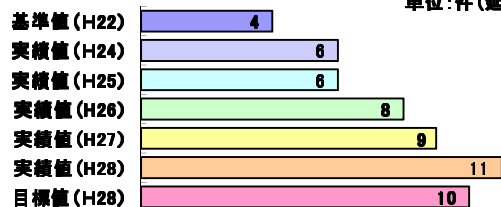
政策5 地場産業振興と企業誘致による雇用の創出

資金貸付制度等を活用し、地場産業の育成や規模拡大に努め、関係機関との連携や、本市独自の優遇制度を活用した企業誘致を推進します。また、地元での就職を促進するため、就職情報の提供や就職相談を強化します。

【077】雲仙市における企業誘致及び増設件数(合併からの累計件数)

商工労政課

単位：件(延べ)



◎説明

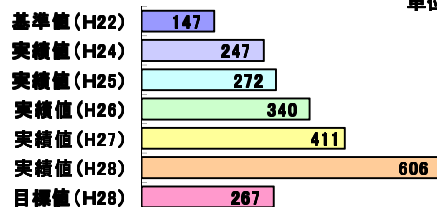
※目標達成！

H19年度1件、H20年度1件、H21年度1件、H22年度1件、H23年度2件、H24年度0件、H25年度0件、H26年度2件、H27年度1件、H28年度2件

【078】企業誘致等に伴う新規雇用創出数(合併からの累計件数)

商工労政課

単位：人(延べ)



◎説明

※目標達成！

H19年度誘致事業において35人、H20年度16人、H21年度57人、H22年度39人、H23年度69人、H24年度31人、H25年度25人、H26年度68人、H27年度71人がそれぞれ雇用された。

(根拠補足)

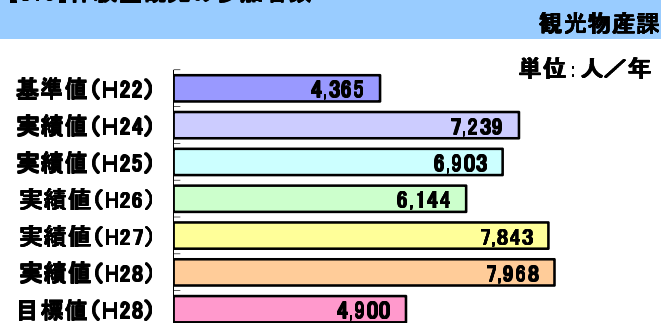
H28年度 195人
三貴工業㈱ 10人
㈱ババ商店 7人
㈱ユーコーエステート 7人
㈱ミカド観光センター 7人
㈱雲仙湯けむりファーム 6人
浜観ホテル 11人
平湯リゾート 4人
和泉屋 20人
旭工業 122人

基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり

政策1 地域資源を活かした観光の振興

本市の豊富な地域資源を活かした体験プログラムを充実させるとともに、ガイドやインストラクターの育成によるおもてなし力の向上を図るなど、魅力的な観光地づくりを推進します。また、効果的な情報発信を行うとともに、修学旅行客や外国人観光客の誘客に取り組みます。

【079】体験型観光の参加者数

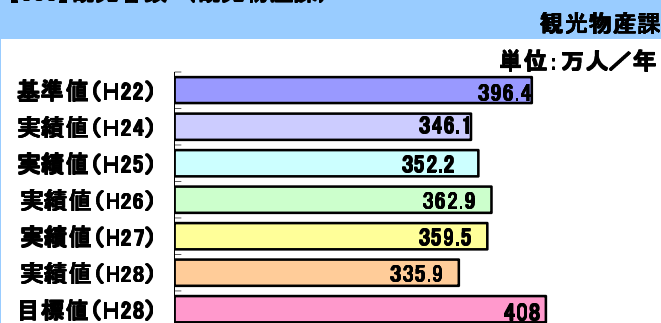


◎説明

※目標達成!

修学旅行による利用は減少したが、一般申込みによる利用が増加したため、前年より微増となった。

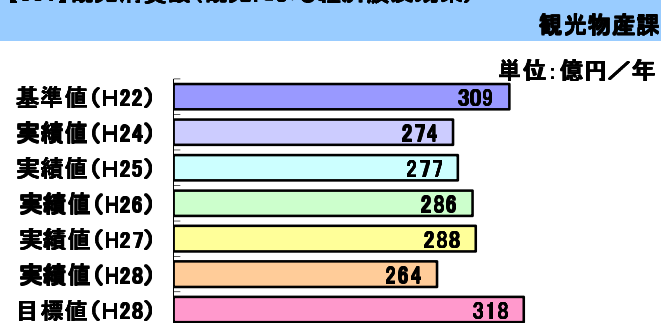
【080】観光客数 (観光物産課)



◎説明

熊本地震発生の影響により、ツアー商品のキャンセルや旅行先の方面変更が相次ぎ、日帰り客・宿泊客ともに大きく減少したが、「長崎ねりんピック2016」や「九州ふっこう割」、「長崎デスティネーションキャンペーン」等のPR活動による誘客効果により、徐々に対前年の減少幅が縮小された。

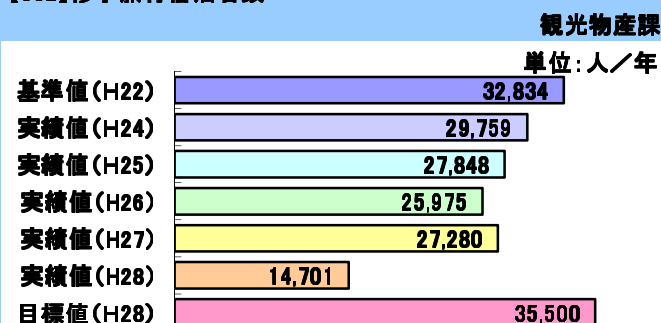
【081】観光消費額 (観光による経済波及効果)



◎説明

熊本地震発生の影響により、日帰り客・宿泊客ともに減少したため、観光消費額も前年より減少した。

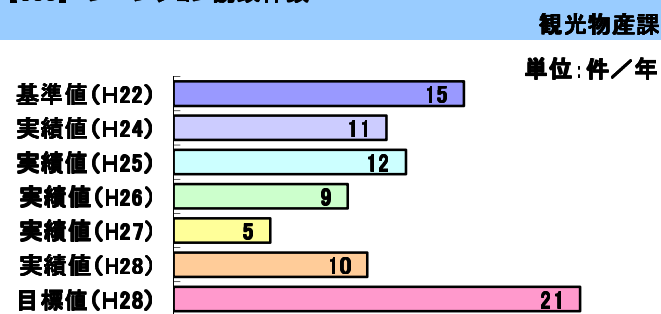
【082】修学旅行宿泊者数



◎説明

熊本地震発生の影響による方面変更が相次いだことにより、修学旅行者数が大幅に減少した。
H27年244校⇒H28年127校

【083】コンベンション誘致件数



◎説明

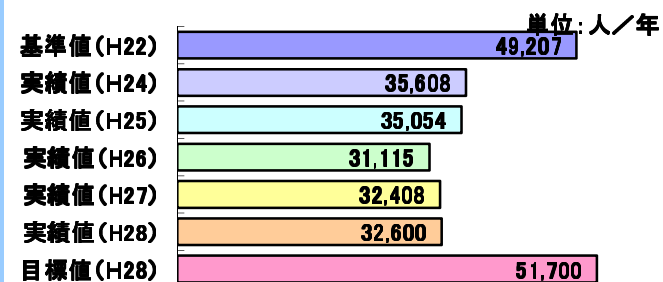
新規コンベンションの開催もあり、前年より増加した。

政策2 地域間交流の推進

プロスポーツチーム等の合宿やスポーツ大会関連事業の誘致に取り組むとともに、スポーツ大会や産業まつり等の交流イベントによる交流促進に取り組みます。また、国内・国際交流を推進し、交流活動の活性化に取り組みます。

【084】市内公共施設を活用したスポーツ交流や合宿人数

スポーツ振興課



◎説明

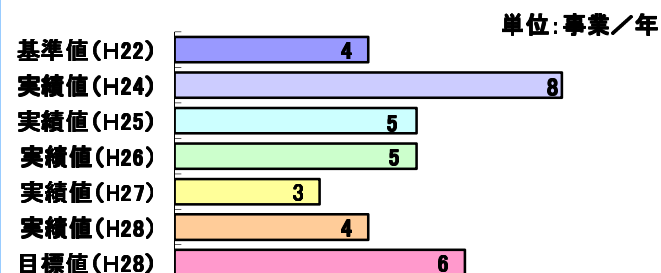
雲仙市内公共施設を活用した大会等を開催し、参加者数については、広報活動などにより前年度より増加したが、目標には達しなかった。

【遊学の館】合宿等 4,075人、イベント14,129人

【すこやかランド】合宿等 3,223人、イベント11,173人

【085】姉妹都市等による国内・国外交流事業数

生涯学習課・観光物産課

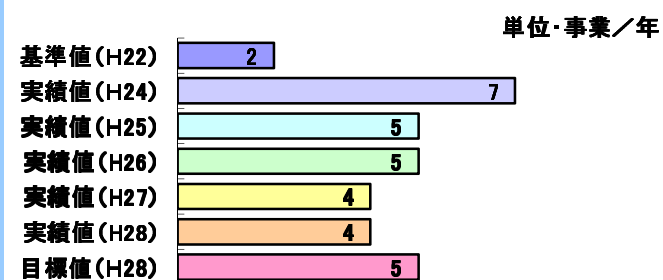


◎説明

- ・天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議国内交流事業
- ・雲仙市中学生派遣事業
- ・求礼郡中学生招聘事業
- ・市民団体派遣事業（1団体）

【086】国際交流関係事業数

観光物産課



◎説明

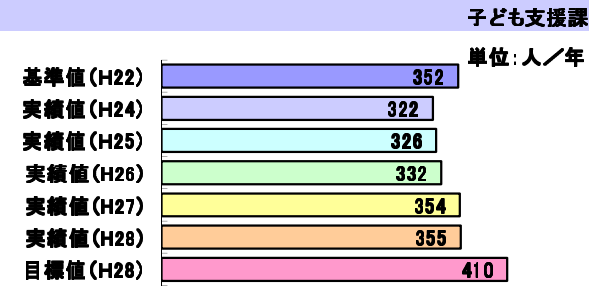
国際交流員を活用した広報紙掲載事業、国際理解講座開催事業（幼稚園、保育園等訪問）、異文化理解講座開催事業（韓国）、市民連携国際交流事業

基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

政策1 健やかな子育て対策

子育てを支援する拠点づくりに取り組むとともに、市民が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境づくりに努めます。また、子どもを安心して生み育てられるよう支援するとともに、市民参加による子育て支援に努め、子どもたちが健やかに育つための環境づくりに取り組めます。

【087】学童保育利用登録者数



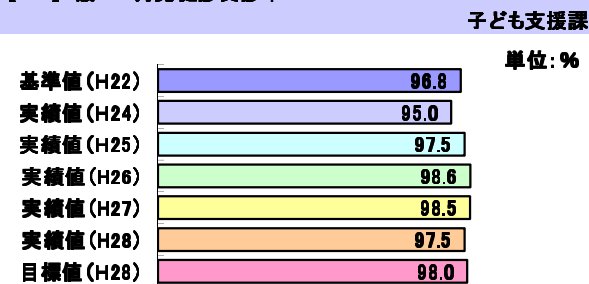
◎説明

平成28年度の登録児童数は、355人であり、基準年度(H22)比：+0.9%、目標年度値比：△13.0%であった。少子化・核家族化の進展や夫婦共働き世帯の増加など需要は高く、「雲仙市子ども・子育て支援事業計画」により、平成29年3月に愛野町に放課後児童クラブを1ヶ所増設。登録児童数は増えていくものと考えられる。

クラブ別登録児童数

サンサンクラブ(国)48人
 おおぞらクラブ(国)20人
 けやきっ子クラブ(国)20人
 ビーターパンクラブ(瑞)20人
 ハッピークラブ(吾)20人
 なかよしクラブ(吾)25人
 コスモスクラブ(愛)117人
 ドンボスコ児童クラブ(愛)1人
 マウントクラブ(干)24人
 小浜クラブ(小)45人
 ひまわりクラブ(小)15人

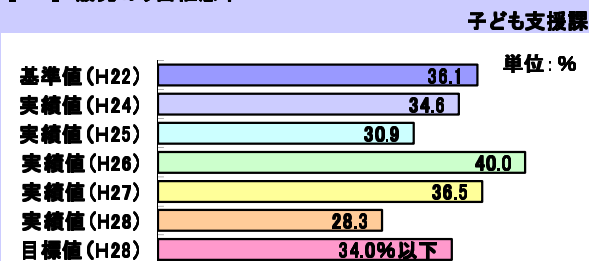
【089】1歳6か月児健診受診率



◎説明

H28年度の受診率は、対象者324人に対して受診者が316人で97.5%と、前年度98.5%から1.0%減少。未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で状況を聞き、受診勧奨を行っている。今後も引き続き、受診率向上を目指し対応していきたい。

【091】3歳児のう歯罹患率



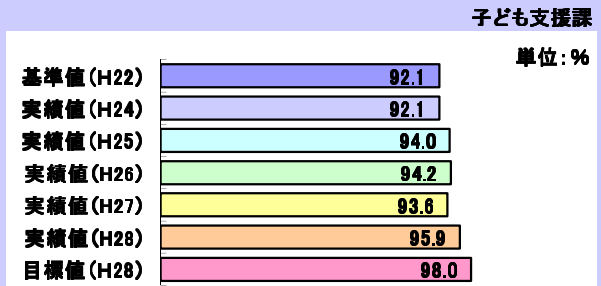
◎説明

※目標達成！

H28年度は歯科健診受診者354人のうち、う歯がない人は254人、う歯がある人が100人で、う歯罹患率は28.3%と、前年度より8.2%減少している。

その年によって罹患率にバラつきがある状況であり、県平均値より依然高い水準にあるので、目標値以下を達成できるよう、今後も歯科保健事業の推進により、う歯罹患率の減少を目指していきたい。

【088】3～4か月児赤ちゃん健康相談受診率

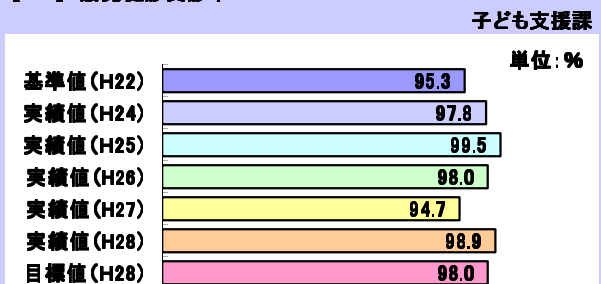


◎説明

H28年度は、対象者314人に対して受診者が301人で95.9%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。

未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良（入院中）、保護者の都合等であった。

【090】3歳児健診受診率



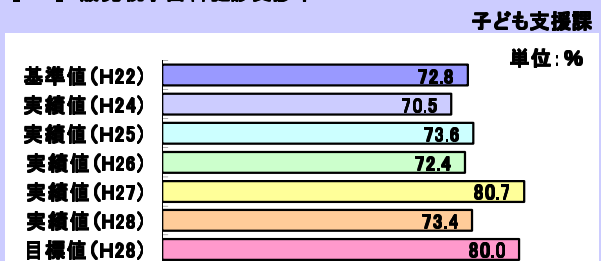
◎説明

※目標達成！

H28年度の受診率は、対象者358人に対して受診者が354人で98.9%と、前年度から4.2%増加。

未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で聞き、受診勧奨を行っている。本年度は目標値に到達しているが、引き続き、受診率向上を目指していきたい。

【092】2歳児親子歯科健診受診率



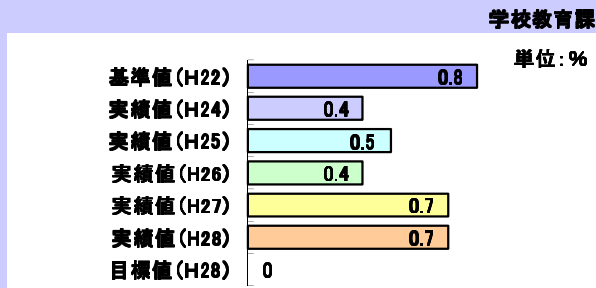
◎説明

H28年度は、対象者334人に対して受診者が245人で受診率は73.4%であった。

政策2 教育環境の充実

家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりに取り組みます。また、校舎等の計画的な改修・耐震化を進めるとともに、給食センターの適切な管理など、安全・安心の教育環境づくりを進めます。

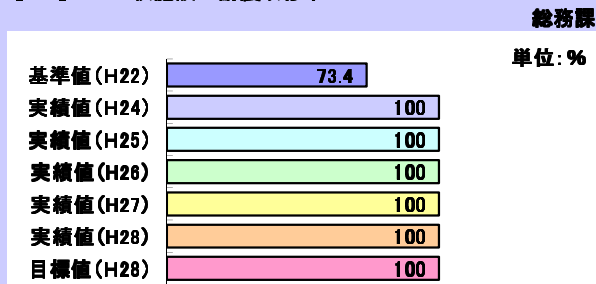
【093】不登校児童生徒率



◎説明

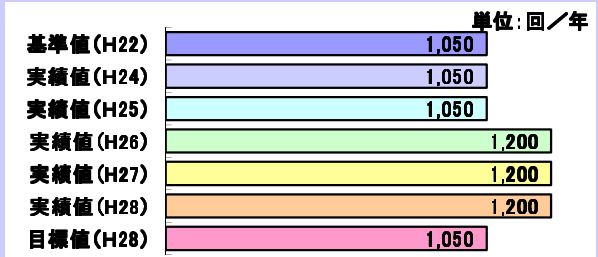
連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする者を計上。不登校児童生徒数23名。H28在籍児童生徒総数3,447名。

【095】小中学校施設の耐震改修率



※目標達成!

【094】小学校(5・6年生)および中学校における外国語指導助手(ALT)派遣回数



◎説明

※目標達成!

小学校及び中学校へのALTの派遣回数。

【H28年度実績 200日×6名=1,200回】

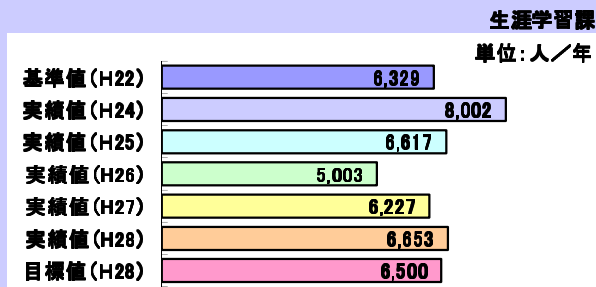
◎説明

H24年度において達成

政策3 生涯学習の推進

地域や学校と連携した地域ぐるみの育成活動や、読書活動の推進により、青少年の豊かな心を育むなど健全育成に努めます。また、市民の多様な生涯学習ニーズに応える体制づくりや教育環境の整備を進め、生涯学習社会の構築と、豊かな芸術・文化あふれる地域づくりを推進します。

【096】地域での体験活動等の参加者数

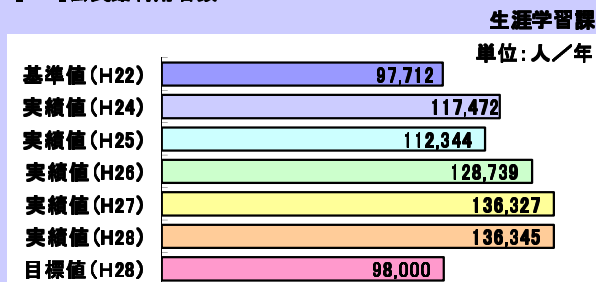


◎説明

※目標達成!

子ども向けの体験型の講座を74回開催し、延べ参加者は943人
放課後子ども教室を136回開催し、延べ参加者は1,121人
土曜学習を402回開催し、延べ参加者は4,589人

【098】公民館利用者数



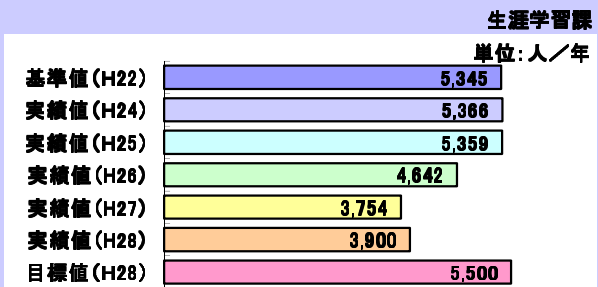
◎説明

※目標達成!

H28年度実績(公民館利用者数)

瑞穂町公民館 40,863人
愛野町公民館 46,985人
千々石町公民館 18,729人
南本町公民館(小浜) 29,768人

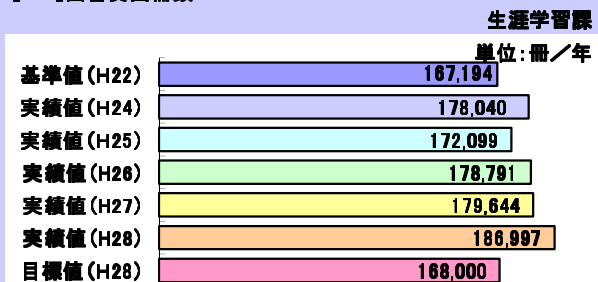
【097】生涯学習講座等受講者数



◎説明

生涯学習講座・公民館講座 189講座3,900人の参加者数となった。

【099】図書貸出冊数



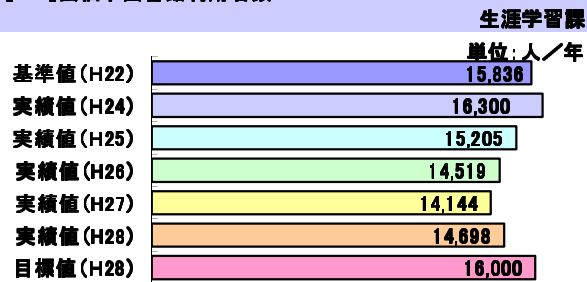
◎説明

※目標達成!

H28年度実績(図書館要覧抜粋)

雲仙市図書館 81,760冊
瑞穂図書館 9,585冊
吾妻図書館 11,282冊
愛野図書館 13,577冊
千々石図書館 12,441冊
小浜図書館 19,586冊
南串山図書館 5,784冊
移動図書館 32,982冊

【100】雲仙市図書館利用者数



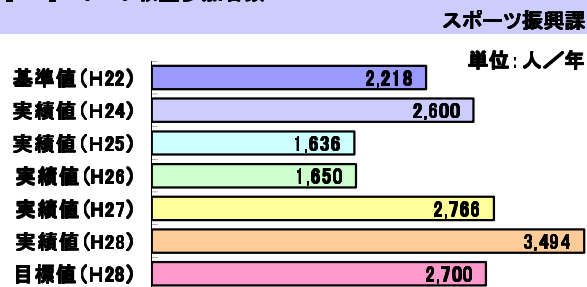
◎説明

H28年度実績 図書館利用者数 14,698人

政策4 生涯スポーツの振興

市民の年齢や適性に応じたスポーツを奨励し、健康なからだづくりや、市民交流を推進します。また、施設の機能強化や利用機会の均等化を図るため、施設の改修・再編や管理体制の見直しに努めます。

【101】スポーツ教室参加者数



◎説明

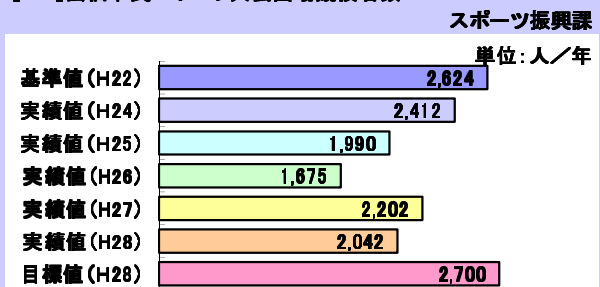
※目標達成!

健康・体力づくり推進のための教室として、雲仙市オリジナルスポーツ・雲仙アヅマクロス教室のほか、体力年齢がわかる体力年齢測定会や水泳教室、ウォーキング大会を実施した。

また、成長期における障害予防等の知識習得と実践のための講習会などを開催し、全参加者数については、前年度を大幅に上回り目標数値を達成した。

- ・雲仙アヅマクロス教室 (1,949人)
- ・体力年齢測定会 (47人)
- ・スポーツ医科学講習会 (799人)
- ・水泳教室 (640人)
- ・ウォーキング大会 (59人)

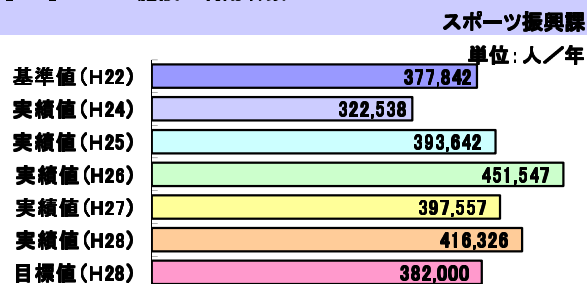
【102】雲仙市民スポーツ大会出場競技者数



◎説明

雲仙市体育協会の協力のもと、競技人口の拡大、育成に取り組んだが、参加者数については、各競技会の加入人数の減や、雨天の影響による参加者減少等もあり、目標には達しなかった。

【103】スポーツ施設の利用者数



※目標達成!

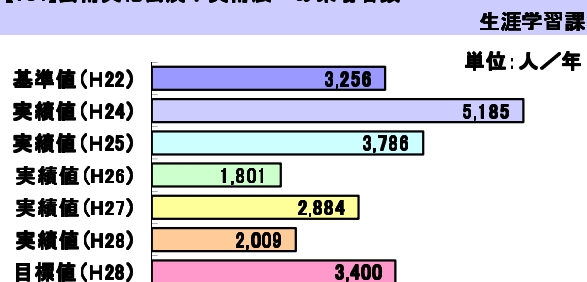
◎説明

前年度に比べ4.5%程度増加しているのは、アヅマクロス教室等の支部活動事業や、各種スポーツ大会開催などが主な要因となっている。前年度に比べ、特に学校開放施設やみずほすこやかランドの利用者が増っており目標数値を達成した。

政策5 芸術・文化活動の推進

芸術文化鑑賞等の機会を提供しつつ、市民の芸術・文化活動の推進と発表の場の提供を行うことで、市民の豊かな人格形成と新たな地域文化の創造を目指します。また、文化施設の適正な管理や、利用促進のための情報発信を強化します。

【104】芸術文化公演や美術展への来場者数

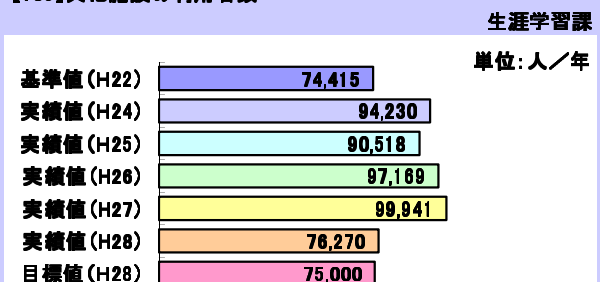


◎説明

文化イベントへの参加者数

市内3ホール等を幅広く使用し、ターゲットを絞った企画を計画。市民からのアンケート結果を反映したクラシックやジャズのコンサート、コメディ公演、子育て講演会など幅広いジャンルの公演を実施した。

【105】文化施設の利用者数



◎説明

※目標達成!

H28年度実績簿より各施設の年間利用者数

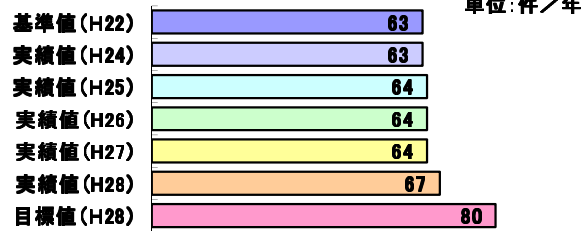
- 国見町文化会館 15,381人
- 吾妻町ふるさと会館 46,623人
- ハマユリックスホール 14,266人

政策6 歴史・文化を活かしたまちづくり

各種開発事業に伴い、市内遺跡・埋蔵文化財等の調査・保存を進めます。また、伝統的建造物の保全整備や、伝統芸能の保存、生活習慣、食文化等の継承を推進するとともに、文化財保存に対する意識啓発や活動の支援を行います。

【106】文化財の指定数

生涯学習課

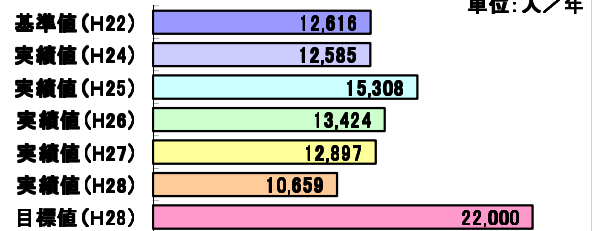


◎説明

新指定文化財の追加3件
 高下古墳出土品一括
 倉地川古墳出土品一括
 百花台遺跡出土品一括

【107】鍋島邸入場者数

生涯学習課

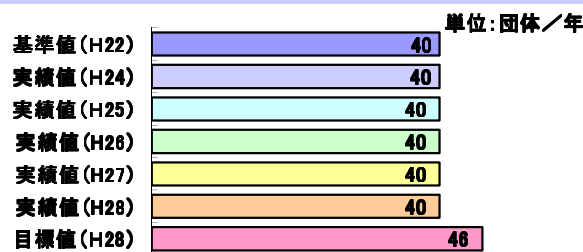


◎説明

4月の熊本地震の影響もあり団体客で前年比2,000名以上の減となった。
 地域団体と連携し緋寒桜の郷まつりを開催し、庭園コンサートほか各種イベントを開催した。

【108】郷土芸能保存団体数

生涯学習課

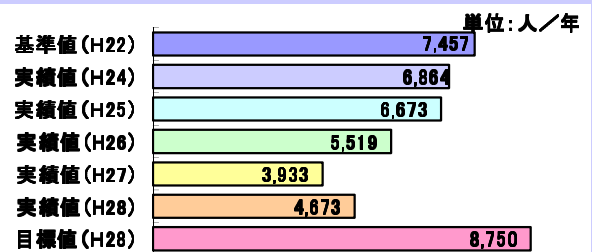


◎説明

豊作祈願など、第1次産業を基盤とした郷土芸能が多く、職種や生活スタイルが多様化した現代において伝承が困難になりつつある。国の助成制度などの活用を図り支援していく。

【109】歴史資料館入場者数

生涯学習課

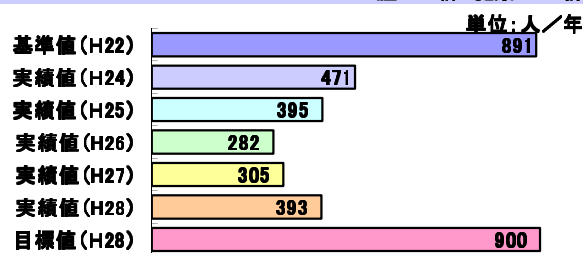


◎説明

南串山展示館 319人
 小浜歴史資料館 3,028人
 国見展示館 1,326人
 小浜歴史資料館で、茶会、コンサート、企画展などを実施し入場者が増加した。

【110】郷土料理教室参加者数

生涯学習課・健康づくり課



◎説明

公民館講座や食生活改善推進員の料理教室で、地元の食材を利用した郷土料理教室など講座を開催した。(生涯学習課4講座60人・健康づくり課16講座333人)